MITSUBISHI

三菱電機 産業用除湿機（R４１０A対応）

形名
KFH-P２A
KFH-P３A
KFH-P５A
KFH-P１０A

取扱説明書

もくじ

ページ
安全のために必ず守ること ……１・２
故障をさけるために必ず守ること ……3
各部の名称とはたらき ……4・5
運転の仕方 ……6～9
長期間ご使用にならないとき ……１０
お手入れの仕方 ……１１
ようすがおかしいとき ……１２
保証条件・アフターサービス ……１３
運転温湿度範囲のめやす ……１４

製品を正しく安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずこの「取扱説明書」をよくお読みください。
お読みになったあとは「据付工事説明書」とともに大切に保管してください。万一ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、お役に立ちます。
（特殊仕様品については製品の細部が、この説明書と若干異なる場合があります。）

「この製品は日本国内用ですので、日本国外では
使用できず、またアフターサービスもできません。」
「This appliance is designed for use in Japan only and can not be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.」

WT04795X03

安全のために必ず守ること

●ご使用の前に、この「安全のために必ず守ること」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
●ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷等の重大な結果に結び付く可能性が大きいもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があるもの。

本文中に使われる“ 図記号 ”の意味は次のとおりです。

	絶対に行わないでください。
	触れたり、指や棒を入れないでください。
	必ず指示に従い、行ってください。
	必ずアース工事を行ってください。

●お読みになった後は、据付工事説明書とともに、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠警告

お客さま自身で据付けはしない。
・据付けは、販売店または専門業者に依頼してください。ご自分で据付け工事をされ不備があると水漏れや感電・火災・ケガの原因となります。

お客様自身で分解・修理・移設はしない。
・修理・設置等に不備があると、爆発・火災・感電・水漏れ等の原因になります。お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。

可燃性ガスの漏れるおそれのある場所には設置しない。
・万一ガスが漏れて製品の周囲に溜まると、爆発の原因になります。

冷媒の加熱にご注意。
・冷媒が火などに触れると分解して有毒ガスが発生し、ガス中毒の原因になります。除湿機設置の密閉した部屋内で溶接機などを使用しないでください。

長時間冷風を身体に直接当てたり、冷やし過ぎたりしない。
・体調悪化や健康障害の原因になります。

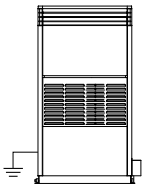
空気の吹出口や吸込口に指や棒等を入れない。
・運転中は内部でファンが高速回転しておりケガの原因になります。

異常時（こげ臭い等）は、運転を停止して電源（ブレーカ）を切る。
・異常のまま運転を続けると、故障や火災・感電等の原因になります、お買い上げの販売店またはお客様相談窓口にご連絡ください。

小部屋へ据付ける場合は、冷媒が漏れても限界濃度を超えない対策を！
・万一冷媒が漏洩して限界濃度を超えると、酸欠事故の原因になります。限界濃度を超えない対策については、お買い上げの販売店にご相談ください。

水気のある場所に設置する場合は、漏電ブレーカを取付ける。
・漏電ブレーカが取付けられていないと、感電の原因になります。

D種接地(アース)工事を行う。
・アース線は、ガス管・水道管・避雷針・電話のアース線に接続しないでください。
アースに不備があると、感電の原因になります。



⚠注意

濡れた手でスイッチを操作しない。
・感電の原因になります。

製品を水洗いしない。
・感電の原因になります。

室内ユニットの風が直接あたる所に燃焼器具を置かない。
・燃焼器具の不完全燃焼の原因になります。

室内ユニットの風が直接あたるところに動植物を置かない。
・悪影響を及ぼす原因になります。

製品の上に花瓶等水の入った容器を載せない。
・水がこぼれたとき、製品内部に浸水し、感電の原因になります。

据付台などが傷んだ状態で放置しない。
・製品の落下につながり、ケガの原因になります。

室内ユニットの上に乗ったり、物を乗せたりしない。
・落下、転倒によるケガの原因になります。

殺虫剤・可燃性スプレー等を製品の近くに置いたり、直接吹きつけたりしない。
・火災・変形の原因になります。

特殊雰囲気中では使用しない。
・機械油・塩分・湿気・粉塵の多いところ、温泉地帯、硫化ガス・揮発性ガス・腐食性ガス等が充満している所、高周波加工機の近くなどに設置すると故障の原因になります。

製品内の金属エッジに素手で触れない。
・ケガの原因になります。

圧縮機や冷媒配管などに素手で触れない。
・冷媒の状態により、高温あるいは低温になり、火傷・凍傷の原因になります。

食品・動植物・精密機器・美術品の保存等、特殊用途については、確認の上使用する。
・本来の用途以外に使用すると、食品の品質低下等の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。
・換気が不十分な場合は、酸欠事故の原因になります。

ドレン配管は、据付工事説明書に従って確実に施工し、結露が生じないよう断熱処理をする。
・配管工事に不備があると、水漏れの原因になります。

ブレーカやヒューズは正しい容量のものを使用する。
・針金や銅線を使用すると、火災や故障の原因になります。

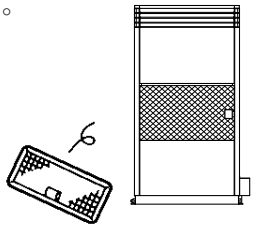
掃除をするときは、運転を停止し、電源（ブレーカ）を切る。
（電源プラグ付きの製品は、プラグを抜く。）
・運転中は内部でファンが高速回転しており、ケガの原因になります。

故障をさけるために必ず守ること

使用上の注意

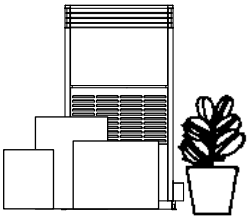
エアフィルタを外したまま使用しない。

内部にゴミがつまり、故障の原因になります。



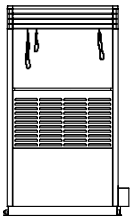
吹出口・吸込口の近くに物を置かない。

能力低下や故障の原因になります。



使用温度範囲を守る。

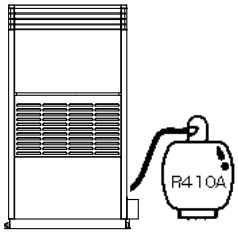
範囲外で使用すると故障の原因になります。
（14ページをご覧ください。）



※室内吸込空気乾球温度が、約20℃以下になると、熱交換器に着霜する場合があります。これは着霜←→霜取を繰り返すことにより除湿するためであり、異常ではありません。

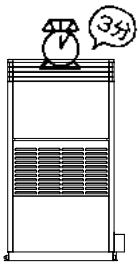
冷媒回路内に指定冷媒(R410A)以外の物を混入させない。

空気などが混入すると、破裂や故障の原因になります。



運転停止して再運転するときは、3分以上経過してから運転スイッチを入れる。

3分以内の発停を繰り返すと、故障の原因になります。

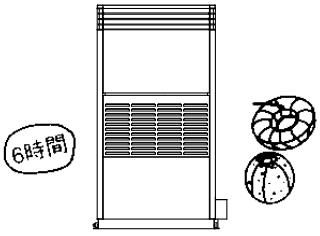


リモコンの温湿度表示は、目安としてください。

条件により数度(%)ずれる場合があります。

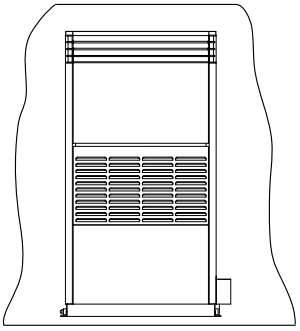
[KFH-P10A]
長時間運転停止の後、再運転する場合は、6時間以上前に電源（ブレーカ）を入れる。

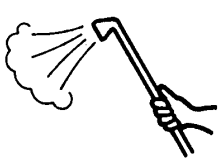
シーズン中は電源（ブレーカ）を切らないでください。クランクケースヒータが通電されていないと、圧縮機故障の原因になります。



ビニルハウス内等で薬剤散布するときは、運転スイッチを切ると共にカバーを掛けてください。

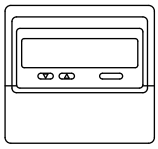
薬剤がかかると、漏電および塗膜が剥がれることがあります。



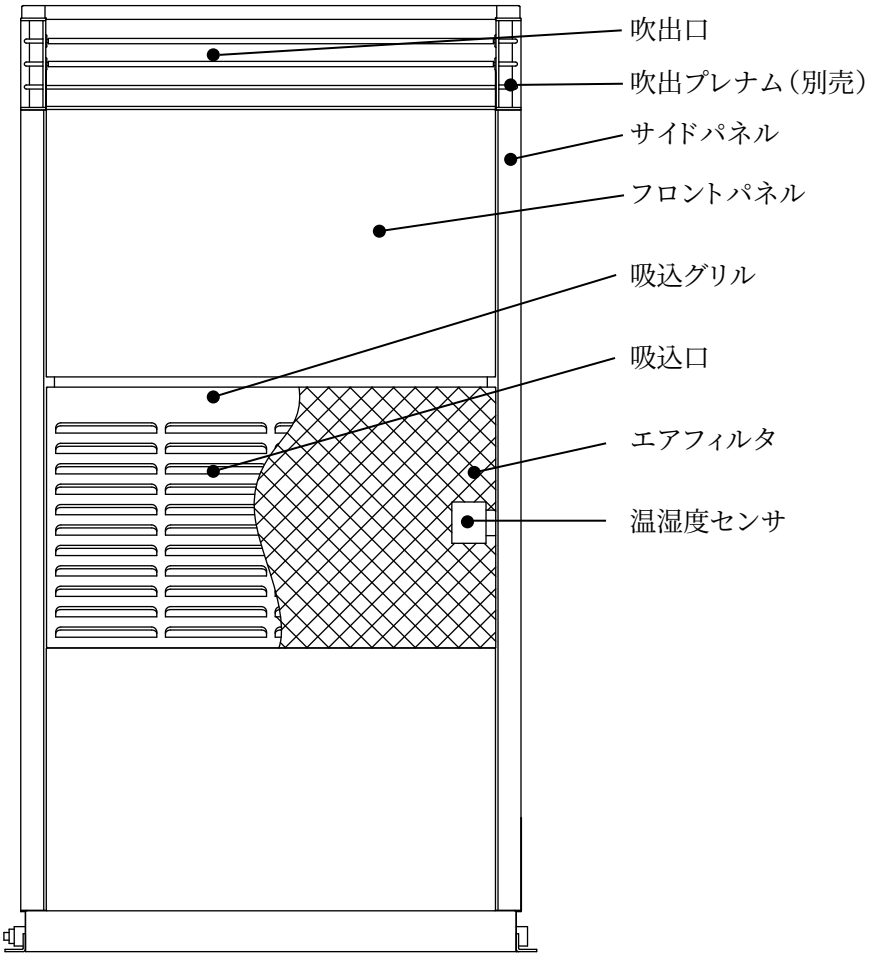


各部の名称とはたらき

本体部（室内ユニット）



リモコン（室内ユニット付属）
※リモコン詳細については
P5～P9を参照してください。



リモコン部

操作ロックボタン
ボタンを押すことにより(2秒以上押し続ける)、他の操作ボタンが無効になります。
※『運転／停止』、『緊急停止』ボタンはロックしません。
※［▼▲設定］ボタンにより温度・湿度設定値の確認はできます。

③モード切替ボタン
設定モード時にボタンを操作することにより設定する項目を切換えることができます。
モード1：運転モード
モード2：湿度ﾃﾞｨﾌｧﾚﾝｼｬﾙ
モード3：湿度設定ﾎﾟｲﾝﾄ
※モード2,モード3は通常、設定する必要はありません。詳しくは据付工事説明書をご参照ください。

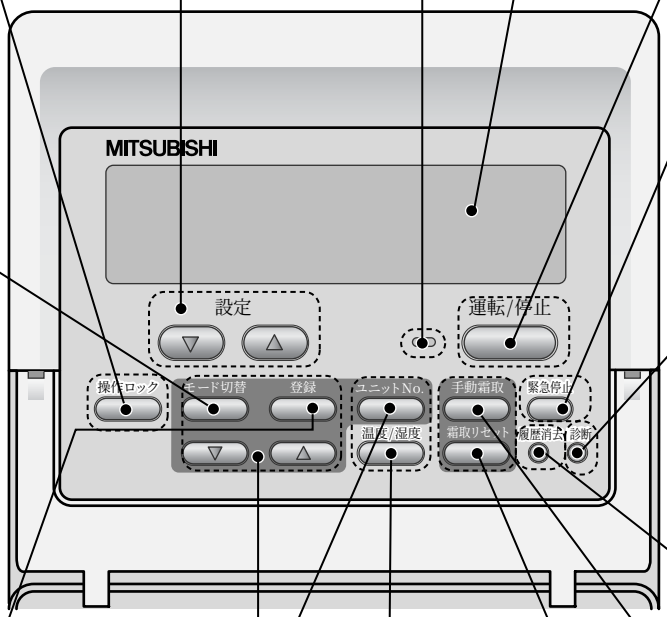
⑦登録ボタン
モード設定時にボタンを操作することにより、設定値を登録することができます。

⑥設定値変更ボタン［▼▲］
モード設定時、各種設定値を変更します。

⑨設定ボタン［▼▲］
ボタンを1回押すことにより、設定値の確認ができます。
設定値を表示中に押すことにより、設定値を変更することができます。
操作ロック中には設定値の確認のみ可能です。

②運転/停止ランプ(LED赤色)
運転時『点灯』
異常時『点滅』

表示部詳細下記



①運転／停止ボタン
ボタンを押す度（2秒以上押し続ける）、運転 ↔ 停止が切換わります。
異常時はいったん停止させることにより異常停止が解除されます。
※霜取中の場合、霜取終了後に停止します。

緊急停止ボタン
ボタンを押すことによりユニット運転中圧縮機、送風機を瞬時に停止させます。

診断ボタン
3秒以内に2回押しすることで、点検（自己診断）モードに移行します。5秒以上押し続けるとリモコン診断モードに移行します。

履歴消去ボタン
3秒以内に2回押しすることで、過去の異常履歴を消去します。

手動霜取ボタン
ボタンを操作することにより、霜取を開始します。

霜取リセットボタン
ボタンを操作することにより、霜取を終了させます。

ユニットNo.ボタン
ボタンを操作することにより、グループ運転内の各ユニットの吸込空気を表示部に表示することができます。
※通常は親機（UC1）の吸込空気の状態を表示します。

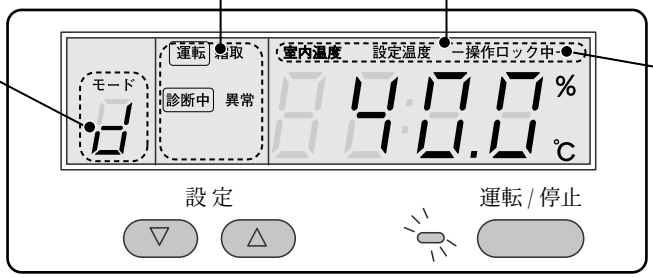
⑧温度/湿度ボタン
ボタンを操作することにより、液晶表示内容を変更することができます。
「室内温度」→「室内湿度」→「室内温度・湿度交互表示」→

表示部詳細

運転状態表示部
『運転』…運転時表示します。
『霜取』…霜取時表示します。
『異常』…点検必要時表示します

⑤室内温湿度／設定温湿度表示部
液晶表示の表示内容を表します。
例、「室内」「温度」「設定」「湿度」
※液晶の単位表示「℃」「%」も表示が変わります。

④モード表示部
通常は運転モードを表示します。
d ：除湿固定
F ：送風固定
モード切換時にはモード番号(1～3)を表示します。



操作ロック表示部
操作ロック時、表示します。

運転の仕方

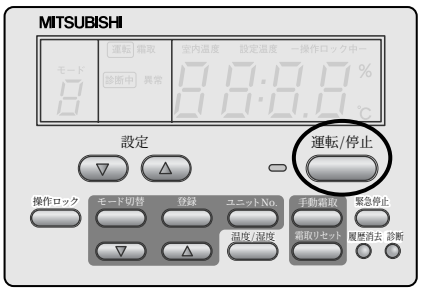
運転／停止と運転モード、湿度設定の仕方

※外部信号等で運転操作される場合は、その操作方法に従ってください。
※KFH-P１０Aは圧縮機の保護のため、運転を開始する6時間以上前に電源（ブレーカ）を入れてください。

運転を開始するとき

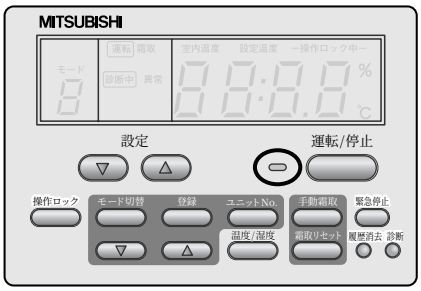
（運転/停止）ボタンを押します。

※（運転/停止）ボタンは2秒以上押し続けてください。
誤動作防止のため2秒程度時間を設けています。



（運転ランプ）が点灯します。
運転を開始します。

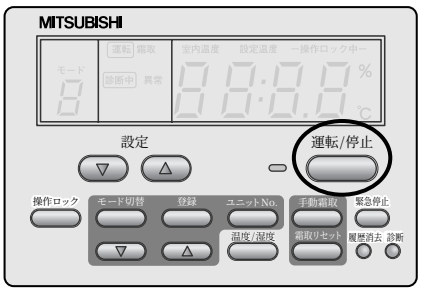
※運転モード、温度設定、湿度設定などのリモコン設定内容は、
一度設定すると電源を切った後も記憶していますので、運転の
都度設定する必要はありません。



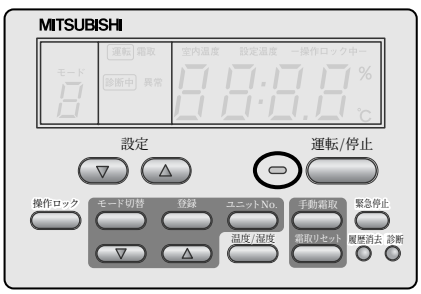
運転を停止するとき

（運転/停止）ボタンを押します。

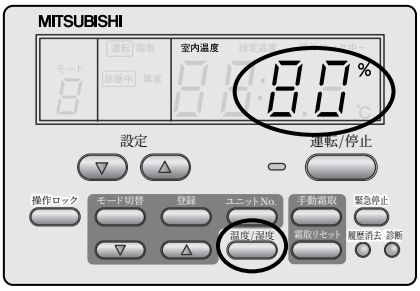
※（運転/停止）ボタンは2秒以上押し続けてください。
誤動作防止のため2秒程度時間を設けています。



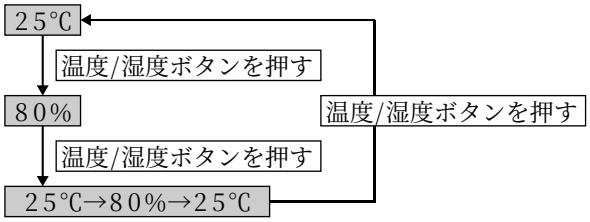
（運転ランプ）が消灯します。
運転を停止します。



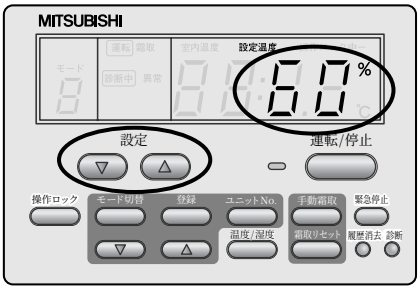
室内温湿度を表示するとき



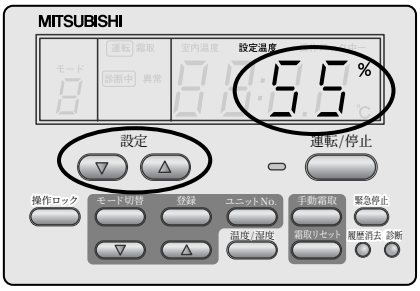
（温度/湿度）ボタンを押します。
ボタンを押すごとに表示内容が
室内温度→室内湿度→室内温湿度交互に変更されます。



設定湿度を変えたいとき



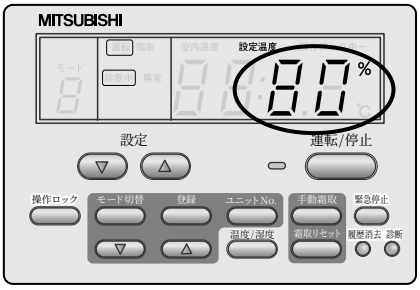
室内湿度表示中に（▽）（△）（設定）ボタンを1回押します。
設定湿度が表示されます。



（▽）（△）（設定）ボタンを更に押すことで
設定湿度の変更ができます。

※1回押すごとに設定湿度を1%変更できます。
設定範囲は下記のとおりです。

湿度
29～85%



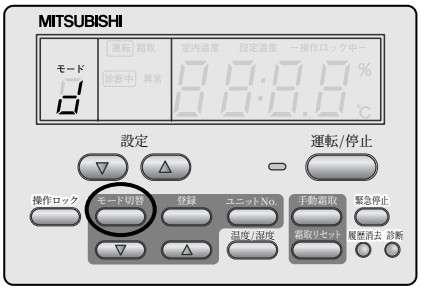
変更後、約10秒間放置します。
10秒後に室内湿度が再度表示されます。
これにより設定が完了します。

運転モードを選ぶとき

※通常は、変更せずにd（除湿固定）にて使用してください。
F：送風固定で使用する場合は、以下の説明に従って設定してください。

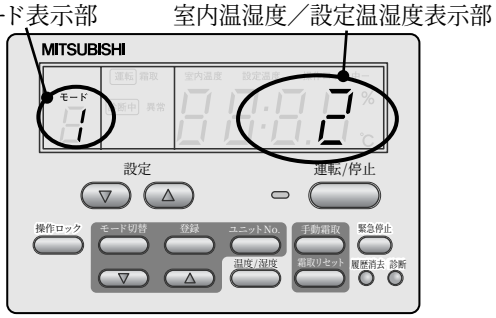
運転モード		運転内容
A	（無効）	運転モードd（除湿固定）に切替わります。
d	除湿固定	目標の湿度となるように除湿運転のみを行います。
C	（無効）	運転モードd（除湿固定）に切替わります。
F	送風固定	送風運転のみを行います。

運転中に （モード切替）ボタンを押します。



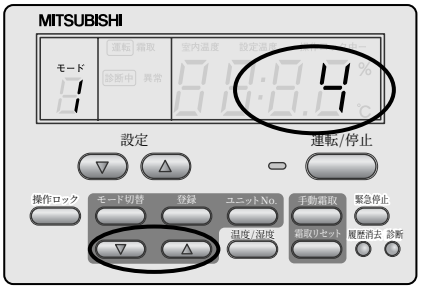
モード表示部に1と表示されます。
室内温湿度/設定温湿度表示部に現在の運転モード番号が表示されます。

※モード切替ボタンを押すごとに、モード表示部に1～3まで表示されます。必ず1であることを確認し、次の操作に進んでください。



（設定値変更）ボタンを押して
希望の運転モードを選択してください。

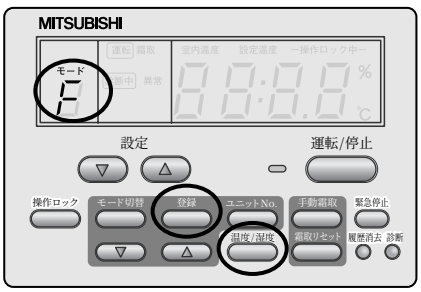
※運転モードと、室内温湿度/設定温湿度表示部番号の対比は下表となっています。希望の運転モードになるように表示部を確認しながら設定してください。



モード表示部番号	運転モード		室内温湿度/設定温湿度表示部番号
1	A	（無効）	1
1	d	除湿固定	2
1	C	（無効）	3
1	F	送風固定	4

① （登録）ボタンを押します。
運転モードが変更されます。

② （温度/湿度）ボタンを押して、
モード表示部に希望の運転モードが表示されていることを
確認してください。



その他の表示・点滅について

霜取

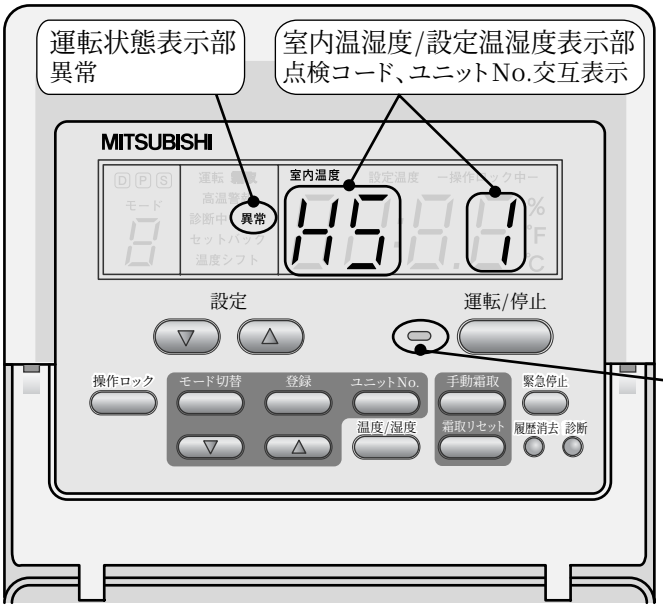
霜取運転のとき
（室内ユニットの熱交換器についた霜を溶かす運転をしています。異常ではありません。）
・運転状態表示部に『霜取』と表示します。

異常

異常発生のとき
・運転状態表示部に『異常』表示します。
・運転ランプが点滅します。
・室内温湿度/設定温湿度表示部に点検コードとユニットNo.が交互点滅します。

点検コードとユニットNo.をメモしてお買い上げの販売店にお申しつけください。

※異常時、運転／停止ボタンを押して停止させることで、『異常』表示を解除できます。



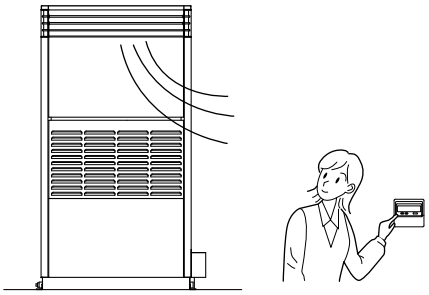
点検コード

H※	高温・高圧系異常
L※	低温・低圧系異常
C※	センサ系異常
EF	送風機異常
F※	リモコン通信系異常

長期間ご使用にならないとき

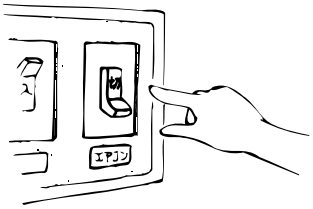
長期間ご使用にならないとき

(1)4～5時間、送風運転して室内ユニット内部を乾燥させる。



(2)リモコンの（運転／停止）ボタンを押して、運転を停止する。

(3)室内・室外ユニットの電源(ブレーカ)を切る。

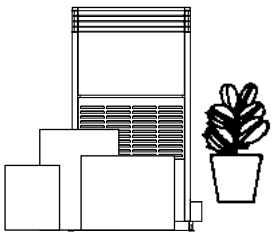


再度使い始めるとき

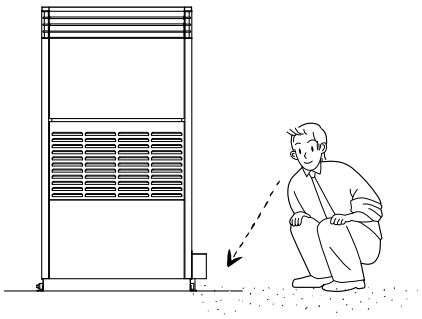
■下記作業(1)～(4)の点検を行い、異常のないことを確認後、電源（ブレーカ）を入れてください。
■電源（ブレーカ）を入れてから6時間以上経過後、運転を開始してください。

(1)エアフィルタを清掃して、取付ける。

(2)室内ユニットの吹出口・吸込口がふさがれていないことを確認する。



(3)アース線が外れていないことを確認する。



⚠注意

アース線はガス管・水道管・避雷針・電話アース線に接続しない。 アース工事に不備があると、感電の原因になります。アース工事を行う場合は販売店にご相談ください。

(4)ドレンホースの折れ曲がり、先端の持ち上がり、詰まりなどのないことを確認する。

(5)KFH-P１０Aは運転開始の6時間以上前から必ず電源(ブレーカ)を「入」にする。

お手入れの仕方

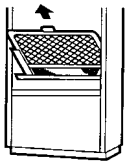
⚠注意

掃除をするときは運転を停止し、電源（ブレーカ）を切る。
運転中は内部でファンが高速運転しており、ケガの原因になります。

エアフィルタの清掃

1 エアフィルタを取外す。

吸込グリルの内側に取付けられています。斜め上方に引き出してください。



2 取外したエアフィルタのホコリを掃除機で吸取るか、水洗いする。

- ●汚れがひどいときは、中性洗剤を溶かしたぬるま湯で洗ってください。
- ●50℃以上の熱いお湯をかけないでください。変形することがあります。
- ●もみ洗いや強く絞ることはさけてください。
- ●すすぎは十分に行い、洗剤が残らないようにしてください。

【洗浄の目安】
- ・ホコリの少ない場所
  月1回程度
- ・ホコリの多い場所
  週1回程度

3 水洗いしたときは、日陰でよく乾かす。

直射日光や直接火に当てて乾かさないでください。変形・変色することがあります。

4 エアフィルタを元どおりに取付ける。

パネルの清掃

中性洗剤をやわらかな布に含ませて拭き、最後に乾いた布で洗剤が残らないように拭き取ります。

ベンジン・シンナーの使用はさけてください。

⚠注意

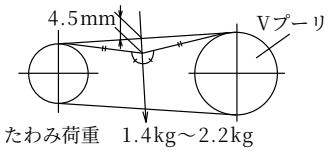
製品内部の金属エッジに素手で触れない。
熱交換器などに触れると、ケガの原因になります。

Vベルトの張り調整［KFH-P10A］

室内送風機のVベルトは、運転時間の経過と共に全長が伸びて張力が低下します。
この状態で運転を続けると、変磨耗や異常音が発生し、故障の原因になることがあります。

【調整時期】
- ・初　　回：　24～28時間後
- ・2回目以降：　2000時間毎
- ・交　　換：　8000時間毎

【張　　力】

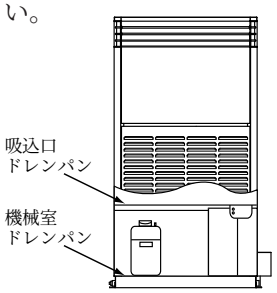


Vプーリの調整等詳細は、据付工事説明書をご覧いただくか、お買い上げの販売店にご相談ください。

室内ユニットドレンパンの洗浄

室内ユニットドレンパンにホコリなどがたまりますと、水漏れや腐食の原因となります。
定期的に洗浄してください。

【洗浄の目安】
- ・ホコリの少ない場所
  月1回程度
- ・ホコリの多い場所
  週1回程度



ようすがおかしいとき

●動かない！

リモコンの運転表示が点灯しない。	■電源（ブレーカ）が入っていないことが考えられます。電源（ブレーカ）をご確認ください。

●勝手に動き出した！

運転・停止ボタンを押さないのに動き出した。	■外部入力信号にてON操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても動き出します。

●勝手に停止した！

運転・停止ボタンを押さないのに停止した。	■外部入力信号にてOFF操作した場合は、運転・停止ボタンを押さなくても停止します。

●運転が止まらない！

停止ボタンを押したのに停止しない。	■霜取運転中に運転・停止ボタンを押しても、霜取終了まで運転を継続します。

●湿気が取れない、よく冷えない！

湿気が取れない、よく冷えない。	■温湿度設定値を確認して、調節してください。 ■フィルタが汚れ、目詰まりして風量が低下している場合は、フィルタの清掃をしてください。 ■室内ユニットの吹出口・吸込口が塞がれている場合は、室内ユニット周囲空間を広く開けてください。
再運転のために停止後すぐに運転・停止ボタンを押したがすぐに運転を再開しない。	■機器を保護するため、マイコンの指示で止まっています。 停止から、約3分間お待ちください。

●音がする！

水の流れるような音や時々“ プシュ ”と音がする。	■ユニット内部の冷媒が流れている音や、冷媒の流れが切換わるときの音です。異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。
“ ピシッ､ピシッ ”という音がする。	■温度変化で部品などが膨張・収縮して、こすれる音です。 異常ではありません。 ※もし気になるような音の場合は、お買い上げ販売店にご相談ください。

●水蒸気が出る！

室内ユニットより白い霧状の水蒸気がでる。	■室内の温湿度が高い場合、運転の始めにこのような現象が起こる場合があります。異常ではありません。

●リモコン設定について

リモコンにエラーコードが表示される。	■自己診断機能が作動して除湿機を保護しています。 ※ご自身では絶対に修理しないでください。除湿機の電源（ブレーカ）を切り、お買い上げの販売店に製品名・リモコン表示内容を連絡してください。

原因・処置を参照しても、不明の場合はお買い上げの販売店へご連絡ください。

保証条件・アフターサービス

保証条件

1　無償保証期間および範囲

据付けた当日を含め１年間としますが、無償にて支給するのは故障した部品または当社が交換を認めたユニットに限ります。ただし２項に記載する使用方法による故障については、保証期間中であっても有償となります。

2　保証できない範囲

(a) 下表に指定した範囲外で使用したことによる事故の場合

項　目	使　用　範　囲
周囲温度・湿度	Ｐ14記載の使用範囲内
電源／電圧	三相200V　50/60Hz　運転中の電圧　180～220V 始動時の最低電圧　170V以上 相間電圧不平衡率　2%（4V）以内

(b) 当社の出荷品を据付けにあたって改造した場合

(c) 運転、調整、保守が不備なことによる事故の場合

- ●塩害
- ●据付け場所不備による事故（風量不足、化学薬品等の特殊環境条件）
- ●メンテナンス不備（ガス漏れを気づかなかった場合）
- ●現地配管工事による事故（ロウ付け不良、配管損傷、冷媒回路への異物の混入）
- ●冷媒過充てん、冷媒不足に起因する事故
- ●真空運転による空気、水分を吸込んだと判断される場合
- ●ショートサイクル運転による事故（運転－停止各々3分以下をショートサイクルと称す。）

(d) 天災、火災による事故

(e) 据付工事中に不都合がある場合

- ●据付工事中取扱い不良のため損傷、破損した場合
- ●当社関係者が工事上の不備を指摘したにもかかわらず改善されなかった場合
- ●軟弱な基礎、軟弱な台枠が原因で起こした事故の場合

(f) その他、ユニット据付け、運転、調整、保守上常識となっている内容を逸脱した工事および使用方法での事故は、一切保証できません。

また、ユニット事故に起因した冷却物、営業補償等の２次補償はいたしませんので当社代理店等と相談の上損害保険で対処してください。

（代理店等と相談して損害保険に加入してください。）

3　点検周期および保全期間

保全周期は保証期間を示しているものではありませんのでご注意ください。

主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］	主要部品名	点検周期	保全周期［交換または修理］
圧縮機	1年	20,000時間	膨張弁	1年	20,000時間
モータ		20,000時間	バルブ（電磁弁など）		20,000時間
ベアリング		15,000時間	センサ（サーミスタ、圧力センサなど）		5年
電子基板類		25,000時間	ドレンパン		8年
熱交換器		5年			

注1. 本表は主要部品を示します。詳細は保守点検契約に基づいて確認してください。

注2. この保全周期は、製品を長く安心してご使用いただくために、保全行為が生じるまでの目安期間を示していますので、適切な保全設計（保守点検費用の予算化など）のためにお役立てください。
また保守点検契約の内容によっては本表よりも、点検・保全の周期が短い場合があります。

アフターサービス

●保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
ご連絡にあたっては次の点をハッキリお示しください。

1．除湿機の形名　〔例えば KFH－P5A〕
2．製造番号　〔吸込グリルを外したドレンパンの定格銘板に記入してあります。〕
3．故障の具合

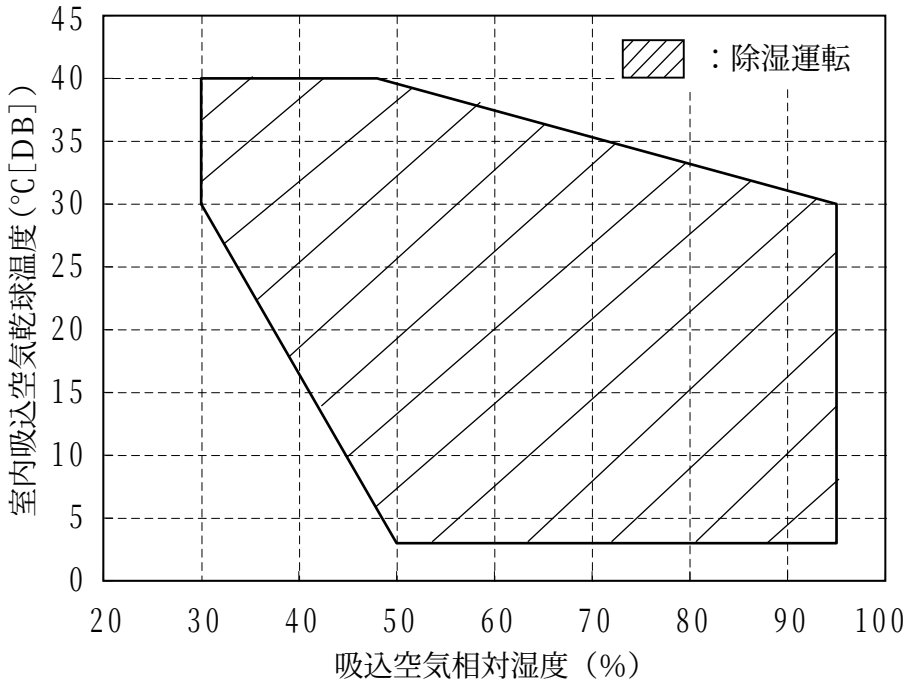
別売部品

- ●吹出プレナム
- ●吹出ダクトフランジ
- ●後吸込ダクトフランジ（前吸込ふさぎパネル付）
- ●フィレドンフィルタ
- ●吹出丸ダクト〔KFH-P2,3,5A〕

運転温湿度範囲のめやす

●下図の温湿度範囲内でご使用ください。
下図の範囲外でご使用になりますと、保護装置が作動してユニットが停止したりする場合があります。
室内吸込空気乾球温度が約２０℃以下になると、室内ユニットの熱交換器に霜が付くため自動的に霜取運転をします。異常ではありません。

運転範囲＜室内温湿度＞



様式1　冷媒漏えい点検記録簿（汎用版）　　年　月　日 ～　年　月　日

管理番号	

施設所有者				設備製造者			
施設名称		系統名		設置年月日			
施設所在地		電話		使用機器	型式		製品区分	
運転管理責任者		電話			製番		設置方式	現地施工
点検事業者 会社名		責任者			用途		検知装置	
点検事業者 所在地		電話		冷媒量（kg）	合計充填量	合計回収量	合計排出量	排出係数（%）
使用冷媒		初期充填量（kg）						
点検周期	基準		実績（月）					

作業年月日	点検理由	充填量（kg）	回収量（kg）	監視・検知手段（最終）	センサー型式	センサー感度	資格者名	資格者登録No.	ﾁｪｯｸﾘｽﾄNo.	確認者

●JRA* GL-14「冷凍空調機器の冷媒漏えい防止ガイドライン」に基づく冷媒漏えい点検のお願い

本製品を所有されているお客様に、製品の性能を維持して頂くために、また、冷媒フロン類を適切に管理して頂くために、定期的な冷媒漏えい点検（保守契約などによる、遠隔からの冷媒漏えいの確認などの、総合的なサービスも含む）（いずれも有償）をお願いいたします。
定期的な漏えい点検では、漏えい点検資格者によって「漏えい点検記録簿」へ、機器を設置した時から廃棄する時までの全ての点検記録が記載されますので、お客様による記載内容の確認とその管理（管理委託を含む）をお願いいたします。
なお、詳細は下記のサイトをご覧ください。*JRA:社団法人 日本冷凍空調工業会
・JRA GL-14について、http://www.jraia.or.jp/index.html
・フロン漏えい点検制度について、http://www.jarac.or.jp/roei/

愛情点検

●長年ご使用のユニットの点検を！

ユニット補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後９年です。

ご使用の際、このようなことはありませんか？

- ●運転音が異常に大きくなる。
- ●室内ユニットから水が漏れる。
- ●電源が頻繁に落ちる。
- ●その他の異常や故障がある。

ご使用中止　故障や事故防止のため、電源を切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

後日のために記入しておくと便利です。

お買い上げ店名　　電話

お買い上げ(据付け)日　　年　月　日

三菱電機株式会社

〒640-8686　和歌山市手平6-5-66冷熱システム製作所

WT04795X03